

Column

コラム



Kanebo



RESCHIE^{レスチエ} 新ヘアケアシリーズ「レシエ」
Damage Care System 50,000名 サンプルプレゼント!



February@woman 2004年2月のお題「ダイエット」

漢方薬ダイエット 文・ミヤケマイ

朝起きたら虫になっていたといえカフカ、トンネルを抜けると雪国だったといえ川端康成。冬を抜けてある朝起きたら、他人のものと思えない二の腕が自分の体に付いていたのは私である…。今となっては、かなりのぽっちゃりというか女らしいというか内臓脂肪が多そうな体型なので、古今東西老若男女、誰も信じてくれないと思うが、私は子供の頃がりがりだった。今では反転してしまったが、ぽっちゃりして妹の手を引いていると、細くて色黒で眉が一字だった私は、バスの運転手などに「お兄ちゃん偉いねー」と言われるぐらい痩せた男の子体型だった。それが中学校に入る頃から、胸がふくらんでくると同時に他の部分もふくらみ始めて、今の体型のひな形が出来上がった。それが私の第一次性徴であった。

ところがここ2年で、めでたく第二次性徴を迎えた私は又一段と「立派」になった。元々やせて大食漢だった私だが、万年胃拡張の胃下垂だったため食べているわりには体重もサイズも学生の頃と変わらず生きてこられた。それが仕事と収入が不規則になり、一日3食食べなくなってから胃拡張と胃下垂が治ってしまったらしい。その上一日中PCの前に座ったきりの運動不足と、寄る年波の代謝不全によって、びっくりするほど「立派」になった。びっくりしてどれくらいかというとうと8kgぐらい。

おかげで現在ウチには入らなくなって着られない服が段ボール3箱分、私の奇跡の生還を忍耐強く待っている。流石にのんびりな私もどうにかしなくちゃと思ったが、ダイエットの経験のない私はどうして良いのかわからなかった。

仕事がせっぱ詰まると、朝昼晩とチョコ一個ずつという、雪山で遭難した人みたいな食生活になる私にとっては、ダイエットとは言えこれ以上食を減らすのは生命維持上危険と思われた。大体食べなくなったら太ったのだから困ってしまう。運動嫌い、西洋医学嫌いな私に残された道は通い慣れた漢方薬局しかなかった。私は母の意向で、小さい頃から庭の琵琶の葉やらドクダミの葉を貼ったり飲んだりする貧乏くさい応急処置で難を逃れてきたそのせいか、漢方は体に合うのである。ある時、中国人の漢方師の方に、漢方しかとらない体には漢方に即効性があり、西洋の薬に慣れた体には即効性がないという話を聞いて、更に私の漢方かぶれは深まって行った。なので、なにか具合が悪くなると気軽に漢方屋さんに行く。タツノオトシゴや朝鮮人参の標本、ほこりっぽい店内は図書館とか博物館みたいで好きだ。鉄瓶で煎じると家中が漢方臭くなるのもなんか効きそうで好きではある。しかし鉄瓶で煎じてとか言っている時間は今の私にはない。もっと即効性があり手間のかからないものをと思った時、前に友人に勧められていた漢方薬屋さんを思い出した。

これは友人がその薬局に面接に行きに行った噂だが、その漢方の会社の会長は70近いのお肌つやつやでびかびか、その上精力絶倫で愛人がもの凄いくらいいるらしいのだ。早速かの薬局に行ってみたら、そこは薬局という感じではなかった。漢方薬屋に必ずある縦長の痔のポスターなどはなく、店内は綺麗で高級ナチュラルハウス（青山にあるやや高級自然食材屋さん+化粧品などもおいている）みたいなところだった。

よく薬局にいるホクロから毛の生えた、眼鏡コーデみたいなオヤジのかわりに、なんだか調剤師っぽい優しいような女の人がいっぱいいた。ちょっとエステみたいな感じでもあるがエステと違ってお姉さん達が心なしか知的である（なんでエステとか歯医者さんの助手は女性や子供相手なのに、水っぽい色気の人が多いのでしょうか？）。入ってすぐ、冷やかしかも知れない私にサービスで漢方茶が出された。ハーブティー好きの私はもうこれだけで好感度アップであったが対応もとてもいい（そういったお茶のドリンクバーも併設していた）。化粧品の美容部員とパチンコ屋の前などにいる着ぐるみの動物が何よりも怖い私でも、わりと良い感じでお話できた。それは、お茶請けにナツメやナッツや低カロリーのクッキーが出てきたからだけではないと思う。

相談するとダイエット用の栄養補助パックのようなもの（これだけで一日分の栄養はあるらしいく水に溶かして飲むだけでいい）一箱を勧められた。

入っているものをチェックしたところ知った漢方材ばかりで安心したが、18個（1日3個で計算すると6日分）で1万円は高い…。それでも一箱目で効果が出るはずという太鼓付きなら安いものと思うことにした。一緒に代謝を上げるための靈芝も勧められたが、これも300mlで2万円以上するのだ（その上こっちは苦くてまずい）。迷ったあげくお試しサイズの小さいのを買ってみた。

朝起きたらすぐ苦い靈芝を飲み、まじめに一日一食それを食べ、一箱目が終わったところで体重計に乗ってみた。まったく変化なし…。仕方ないので肩を落として相談に行くと、ストレスが多かったですか？お酒のみましたか？などと尋問されたがどちらも心当たりが無い私はお姉さんと共に悩んだが、もう一箱だけ続けてみることにした。不思議なことにそうして帰った次の日突然3kgガンと体重が落ちていた。

この瞬間なんかダイエットにはまる人の気持ちが判るような気がした。とても嬉しいし、やる気になる。自分の体を乗りこなしているかんじがする。自分がどんどん変身していくような前向きな気持ちだ。女の子なら誰でも持っているプリティアーウーマン願望に火がつくのか（私の場合は復元というほうが正しいが）。思ったよりダイエットは楽しいのだ。ダイエットが一番簡単で身近な人体改造なのかもしれない。

こうやってダイエット、プチ整形、マジ整形と深みにはまっていくのだろかなーとちょっと思った。男の子が車やガンダムが好きなように、女の子にとってはダイエットや整形が、一種自己能力の拡大幻想や軽い人体改造願望を満たしてく

@woman Column* LineUp

- ▶ 米沢亜衣
幸せになれる料理を追求するイタリア料理教室主宰。雑誌「ソコト」等でも連載中。
- ▶ ミヤケマイ
イラストレーター。独特の世界観で幅広く活躍中。辛口発言には定評あり。
- ▶ ホンザワリン
癒し系ライター。ライターとしての特権を生かしあらゆることにチャレンジし続ける29才独身。

@woman Column* Theme

- ▶ 2004年2月のお題「ダイエット」
- ▶ 2004年1月のお題「占い」
- ▶ 2003年12月のお題「クリスマス」
- ▶ 2003年11月のお題「温泉」

@woman Special Issue

- ▶ 2004年2月「スローダイエット」
- ▶ 2004年1月「占いの読み方」
- ▶ 2003年12月「クリスマスアドヴェントを楽しもう」
- ▶ 2003年11月「セレブスタイルで楽しむ温泉」

ミヤケマイ Profile

横浜市中区生まれ、幼少期をオーストラリアにて過ごす。2001年からフリーになる。雑誌、子供の本、アル

ミヤケマイ Column Backnumber

- February@woman 2004年2月のお題「ダイエット」
- January@woman 2004年1月のお題「占い」
- December@woman 2003年12月のお題「クリスマス」
- November@woman 2003年11月のお題「温泉」

ファベットカード、新聞押絵などを経て最近イラストエッセイ、ウェブの仕事加わる。2003年オリジナルグッズが百貨店一般文具店などで発売中。
第2回アミューズ アーティストオーディション 審査員特別賞

展覧会の予定

(みなさん来てください)
2004年2月4-15 個展
原宿ラフォーレラプネット
<http://www.lapnet.jp/top/>

2004年12月8-14 個展
銀座ボザールミュー
<http://home.catv.ne.jp/hh/mieux/oldtalk.htm>

<http://homepage.mac.com/usakichi/>